

ii 英国海外研修

1. 目的

海外研修では、自然科学発祥の地である英国を訪問し、自然科学発展の歴史や現状について学ぶ。1960～70年代から英国では高等学校段階で課題研究や探究活動が実施され、理科教育に関しても先進的な取り組みが数多くある。このような背景の中にある現地高校に出向き、本校生の課題研究の成果についてポスター発表を行い、さらに、自然科学的事象をテーマに交流を行う。このような活動を通して、生徒が将来海外で活躍するために必要な、国際性や英語による科学コミュニケーション能力を身につけ、国際社会の中での日本の役割や位置づけを知る契機とするために、海外研修を実施する。また、博物館や施設見学で英語を活用しての研修の機会も設ける。

2. 概要

- (1) 日時：3月13日（日）～3月19日（土）
- (2) 場所：Bury St Edmunds County Upper School, Science Centre(University of Cambridge), Cavendish Laboratory, Natural History Museum, Science Museum
- (3) 参加者：生徒／特別理科コース2年 男子22名、女子18名
引率／片山 浩司、吉田 猛、佐藤 哲也
- (4) 実施予定（時刻はすべて現地でのものである）

3月13日 （日）	05:15 学校に集合 05:45 学校出発(貸し切りバス) 11:20 KLM オランダ航空にてアムステルダム（スキポール空港にて乗り換え）へ 17:10 ロンドン ヒースロー空港到着 貸し切りバスにてロンドンのホテルへ
3月14日 （月）	終日 ロンドンでの活動 ホームステイ 科学博物館・自然史博物館の両博物館での学習 ワークシート学習を科学博物館中心に行い、自然史博物館では、興味を持った項目1つに絞ってレポートにまとめる。 16:00 貸し切りバスにて Bury St Edmunds County Upper School (以下 CUS)へ 18:30 Bury St Edmunds に到着 CUS でホストファミリーと対面 各家庭へ
3月15日 （火）	終日 CUS での活動 ホームステイ 午前 日本人とイギリス人混成で班を作り、協力して Energy Workshop に取り組む 午後 ASI での研究内容を英語でプレゼンテーションする(15分×4回)
3月16日 （水）	終日 CUS での活動 ホームステイ 現地校のパートナーとともに Bletchley Park (暗号の研究所) で研修
3月17日 （木）	朝 CUS を出発 約1時間で Cambridge 到着 終日 Cambridge での活動 午前 Science Center での活動 Science Center 館内は細かくブースに分かれていて様々な科学体験ができ、さらに科学的なショーを見ることが出来る 午後 ケンブリッジ大学で研究されている日本人研究者との交流・ディスカッション 夕方 貸し切りバスにてロンドンへ 明朝の出発に備えて空港近くのホテルにチェックイン
3月18日 （金）	07:40 貸し切りバスにてヒースロー空港へ 10:00 KLM オランダ航空にてアムステルダム（スキポール空港にて乗り換え）へ
3月19日 （土）	09:25 関西空港到着 10:30 貸し切りバスにて高松へ 14:20 学校到着 解散